



フォルクスワーゲン T1をつくる

Volkswagen T1

The famous
Volkswagen Van in
the Samba version

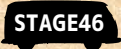
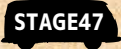
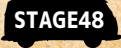
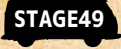
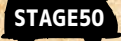
Pack
11





フォルクスワーゲン T1をつくる **Volkswagen T1**

The famous
Volkswagen Van in
the Samba version

| | | |
|---|------------------------------|-----|
|  STAGE46 | エンジンパーツの組み立て | 181 |
|  STAGE47 | シャーシの一部とエンジンの組み立て... | 185 |
|  STAGE48 | トランスミッションとエンジンのシャーシへの取り付け... | 189 |
|  STAGE49 | ヒーティングアクセサリ | 193 |
|  STAGE50 | サスペンションとリアトーションチューブ ... | 197 |



Official Licensed
Product

© Volkswagen, 2024

Trademarks, design patents and copyrights are used
with the approval of the owner, Volkswagen AG

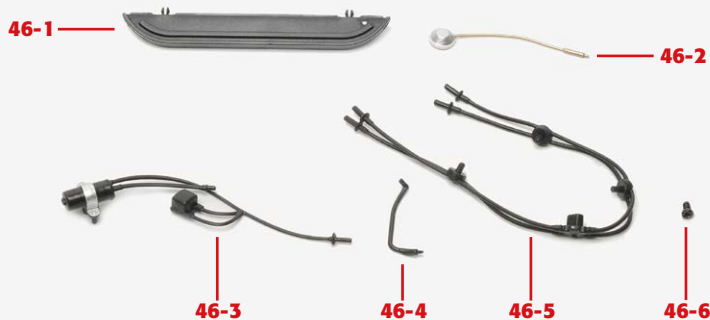


エンジンパーツの 組み立て

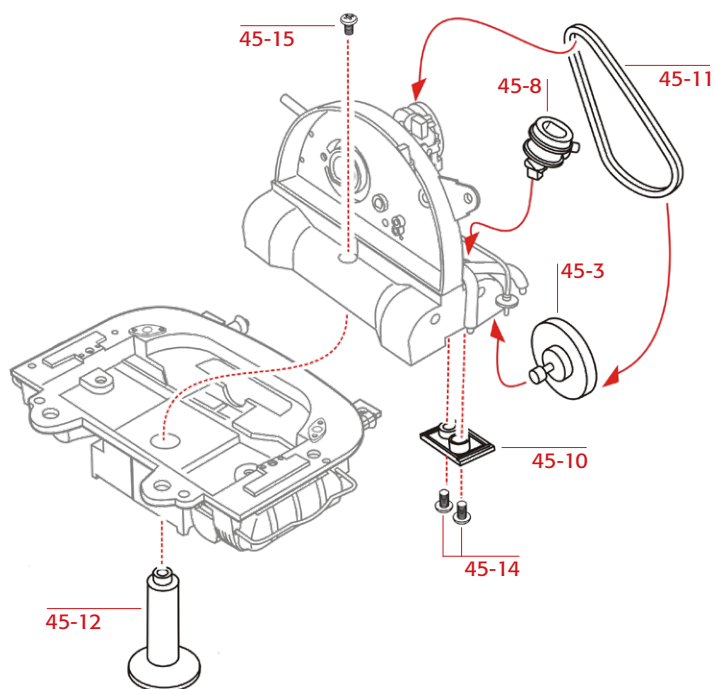
本ステージでは、ステージ45で保管したエンジンパーツの残りを組み立てる。本ステージで提供したパーツは、次のステージの組み立てに使用するので大切に保管しておく。

本ステージのパーツ

- 46-1 エンジンクレードル
- 46-2 バキュームアドバンスライン
- 46-3 イグニッションコイル
- 46-4 キャブレターフューエルライン
- 46-5 スパークプラグケーブル
- 46-6 BP04ネジ(2.3 x 4.0 mm)



組立図



※掲載しているパーツは、ご提供するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

エンジンパーツの組み立て

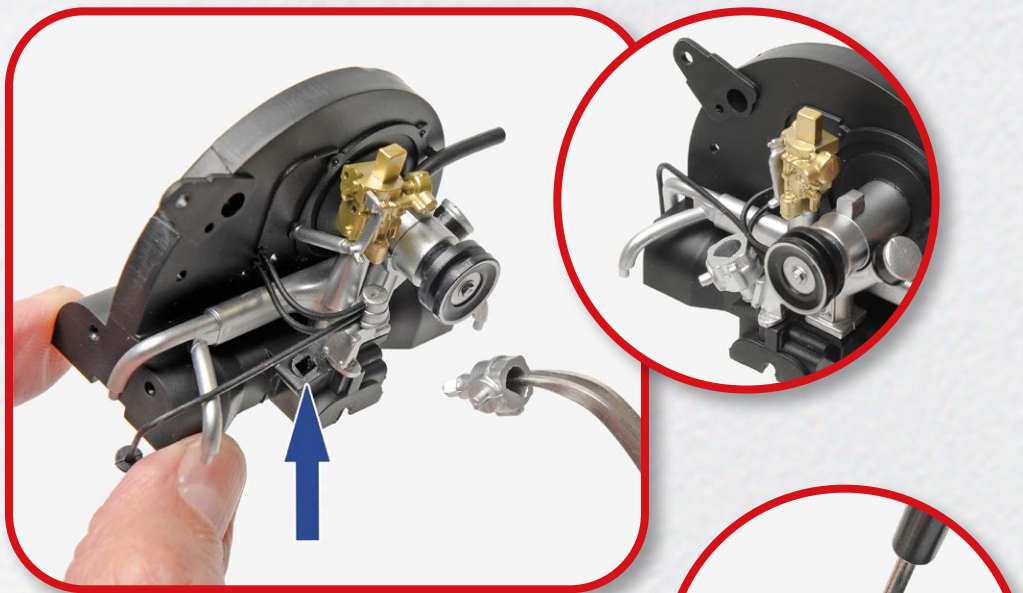
STEP 46-A

ステージ 45 で保管した
パーツを用意する。



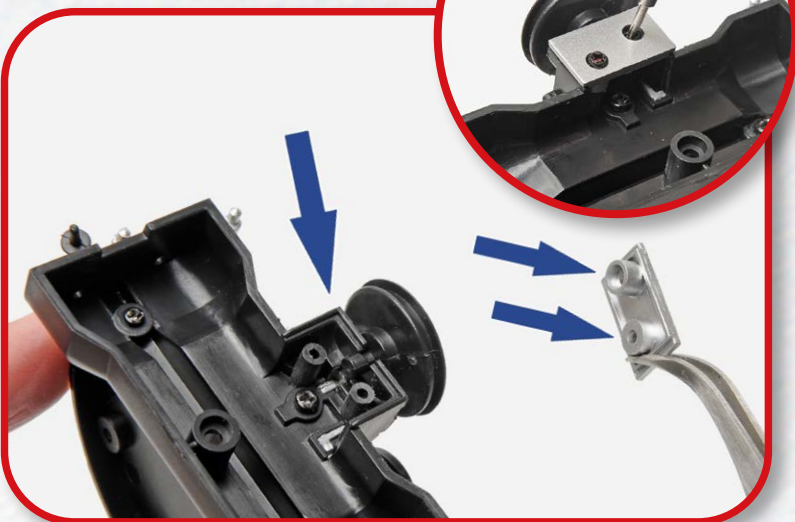
STEP 46-B

ディストリビューター
(45-8) をエンジン上部の
穴にはめ込み、丸い写真
のようになっていたこと
を確認する。



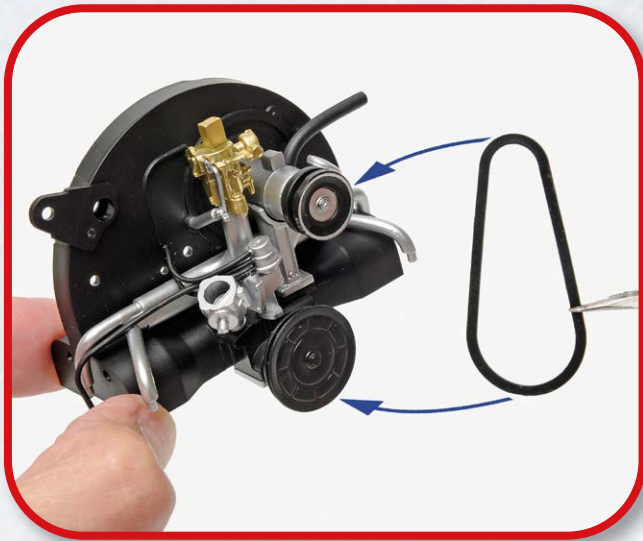
STEP 46-C

次に、エンジン上部を裏返し、プーリー(大)
(45-3) の端を写真の溝に合わせる。



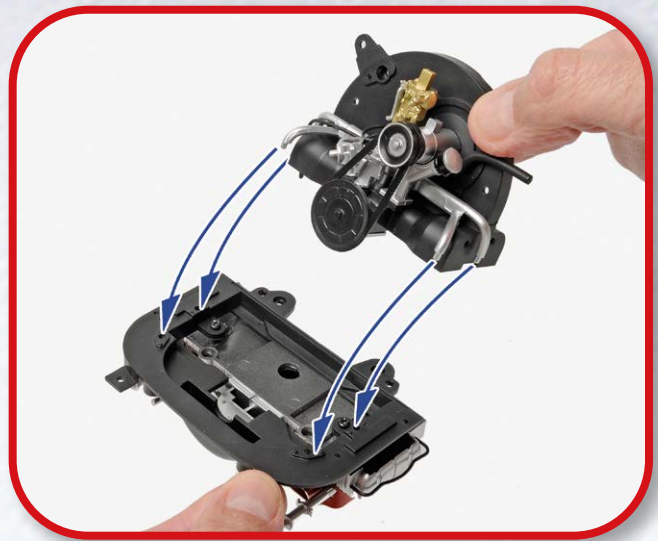
STEP 46-D

プーリー(大) が写真のように取り付けられていることを確認し、
プーリープレート(45-10) を支柱の位置に注意して合わせ、BP03
ネジ(45-14) 2本で固定する。



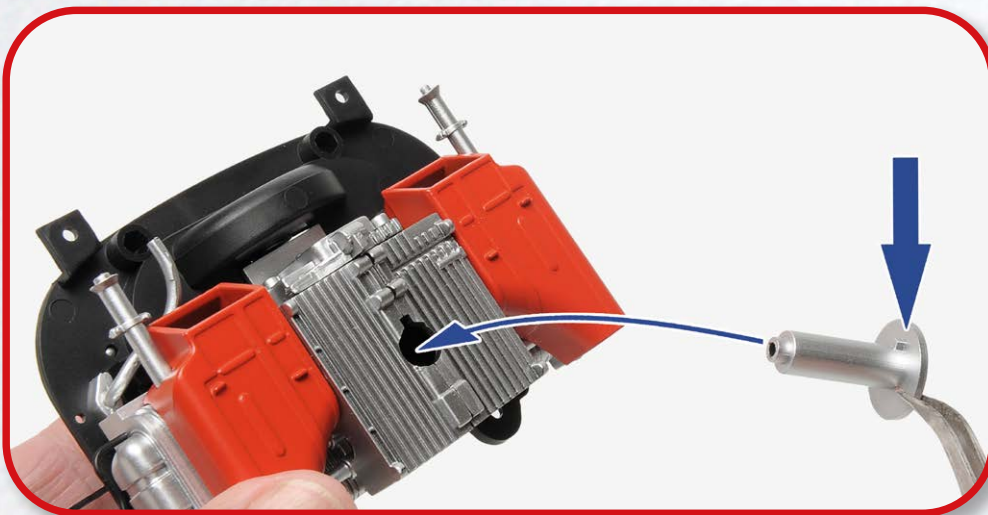
STEP 46-E

次に、ベルト(45-11)を写真のようにプーリー(小)・(大)に取り付ける。



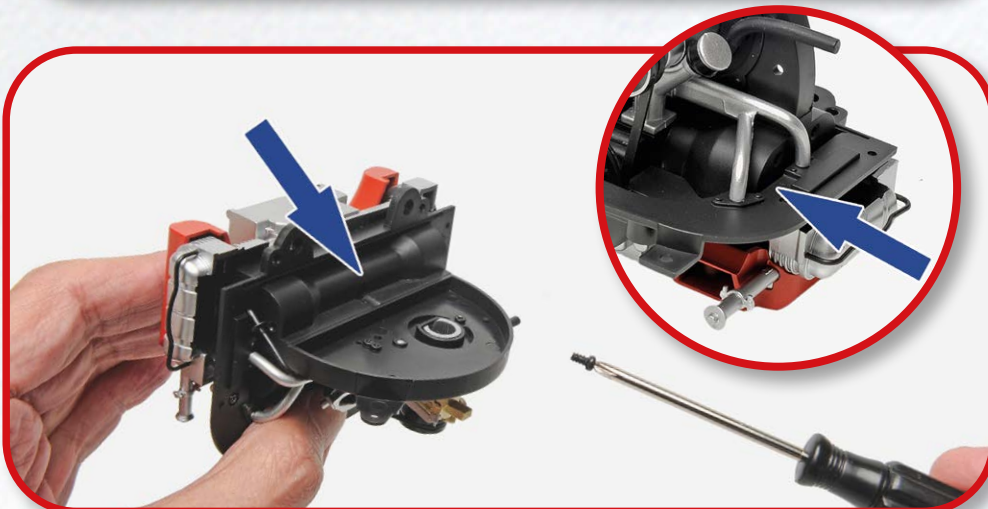
STEP 46-F

エンジン下部を用意し、インテークマニホールドの両端を写真の穴に差し込み、エンジン上部を取り付ける。



STEP 46-G

エンジンを裏返し、写真の穴にオイルストレーナーカバー(45-12)を差し込む。この時、オイルストレーナーカバーには穴の形状に合うピンがあるため、ピンの位置に注意して差し込む。



STEP 46-H

オイルストレーナーカバーをBP04ネジ(45-15)でエンジン上部に固定する。次にエンジンパーツ裏返し、インテークマニホールドの両端が正しくはめ込まれていることを確認する。

エンジンパーツの組み立て



STEP 46-1

最後に、フューエルポンプから出ているチューブの端を、エンジン側面の写真の穴に差し込む。

本ステージの完成

パーツを取り付けたエンジン。

完成品の外観



※写真は試作品です。バスのパーツ色は、ヴォルフスブルクのフォルクスワーゲンオートミュージアムに展示されているVW サンババスを参考にしました。



シャーシの一部と エンジンの組み立て

本ステージでは、エンジンに残りのパーツを取り付け、組み立てを完了する。本ステージで提供したシャーシのパーツは、次のステージの組み立てに使用するので大切に保管しておく。

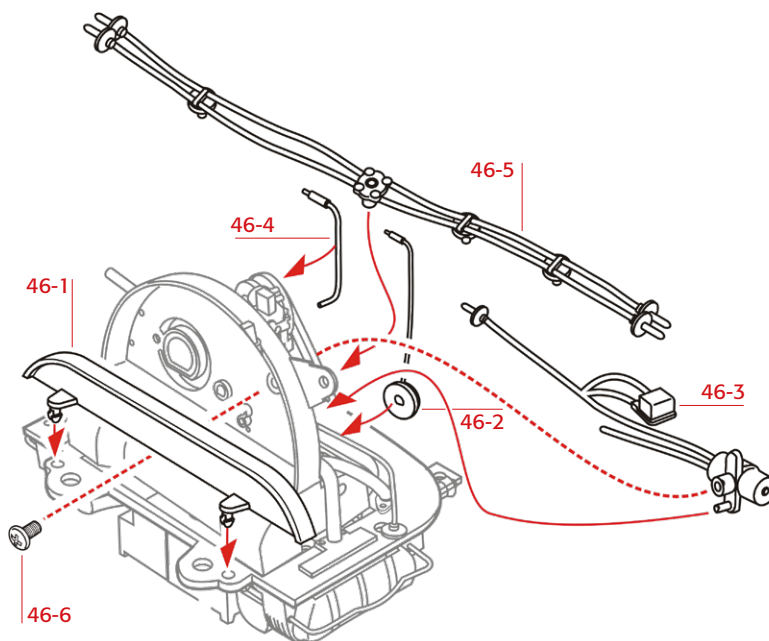
本ステージのパーツ

47-1 リアシャーシ

47-2 BD04ネジ(2.3×4.0mm)



組立図

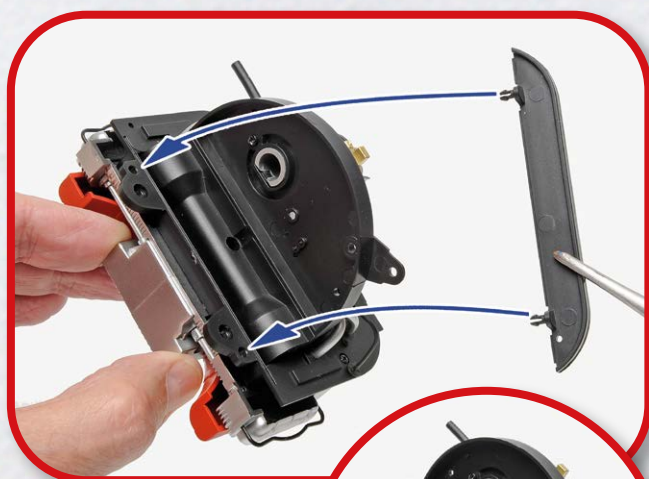
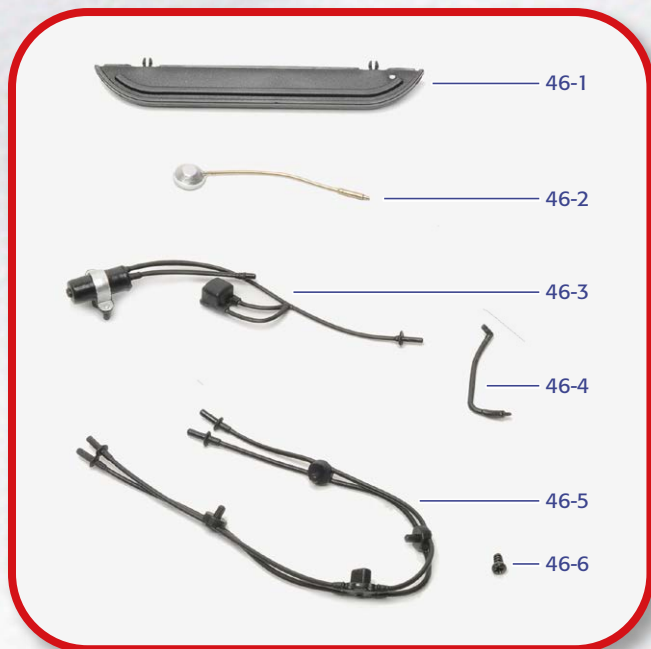


※掲載しているパーツは、ご提供するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

シャーシの一部とエンジンの組み立て

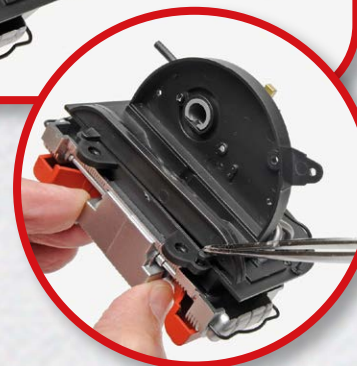
STEP 47-A

ステージ46で提供した全てのパーツを用意する。



STEP 47-B

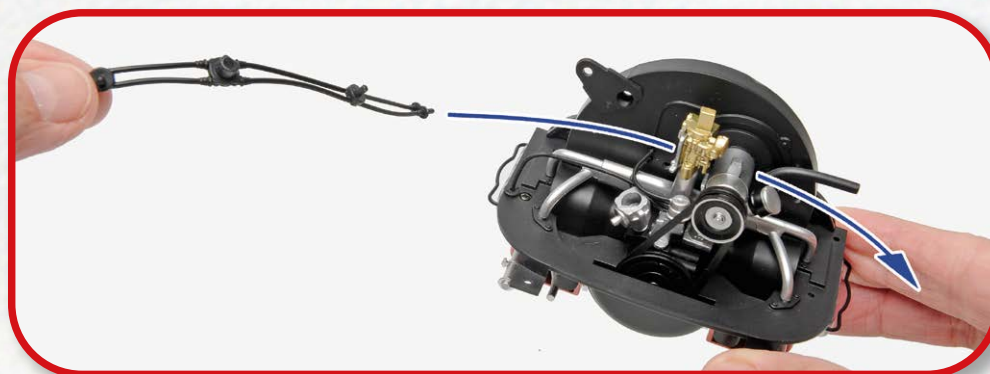
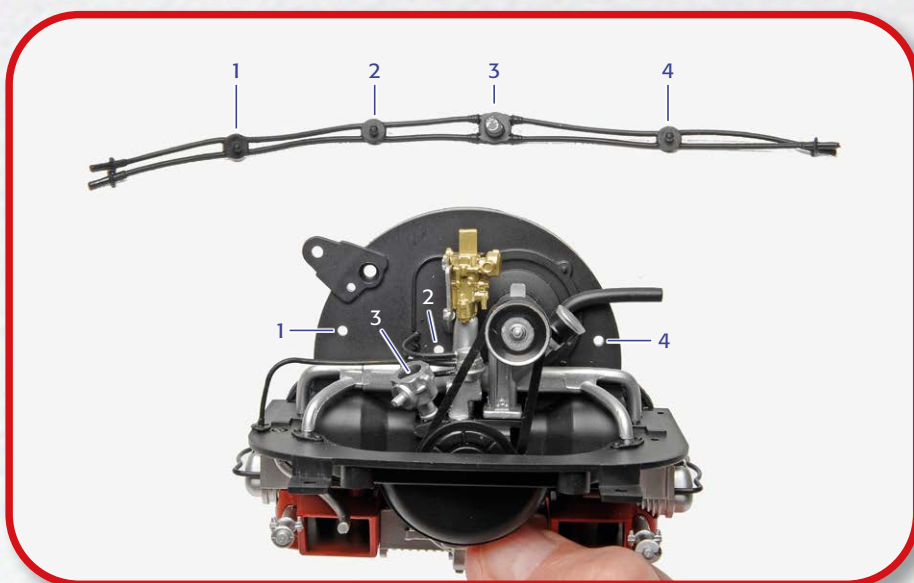
エンジングレードル (46-1) の2本のピンをエンジン後部の写真の2つの穴に差し込む。



STEP 47-C

まず、スパークプラグケーブル (46-5) には写真の番号に従ってファンハウジングとディストリビューターの穴に取り付けるための4つのサポートがある事を確認する。

※ 4の穴への取り付けは、ディストリビューターを引っ張って取り付ける必要があるが、引っ張りすぎてディストリビューターを切断しないように気をつける。



STEP 47-D

スパークプラグケーブルをキャブレターとジェネレータースタンドの後ろに通す。

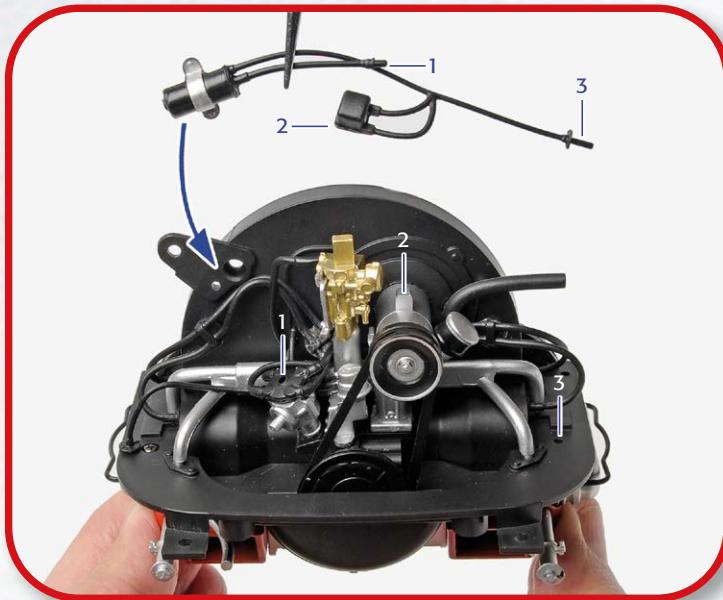
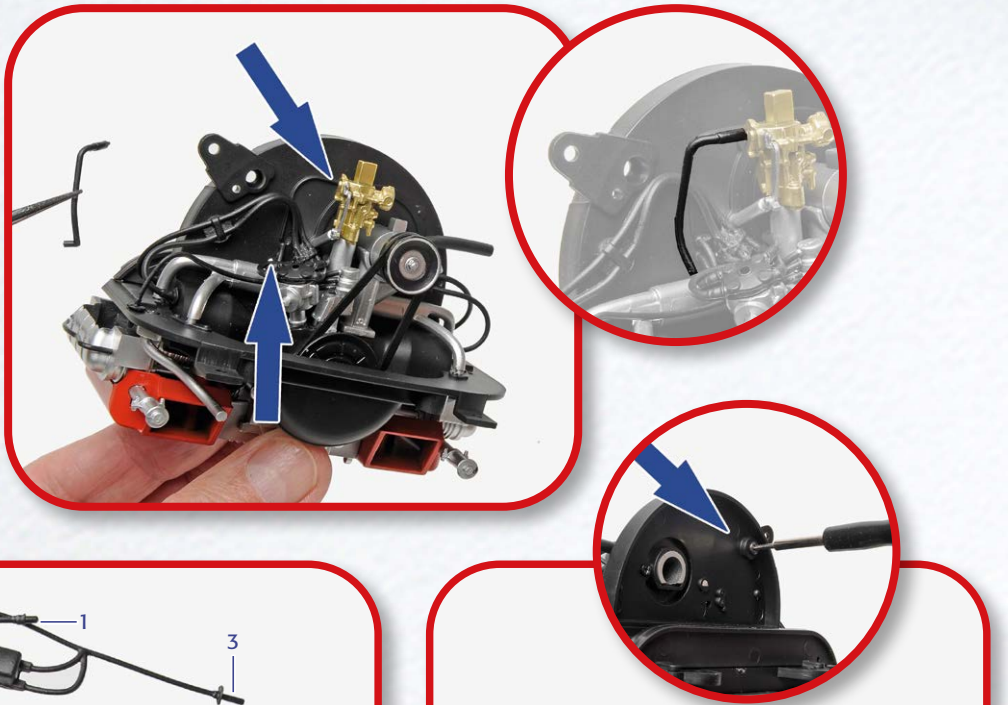
STEP 47-E

ステップ47-Cで示した番号に従って、スパークプラグケーブルのサポートをファンハウジングとディストリビューターの穴に取り付け、ケーブルの端をエンジンパーツの両側にある写真の穴に差し込む。



STEP 47-F

次に、キャブレターフューエルライン(46-4)の下端をファンハウジングの穴(下矢印)に、上端をキャブレター側面の穴(上矢印)に取り付ける。



STEP 47-G

次に、イグニッションコイル(46-3)を写真に示した番号に従って取り付ける。

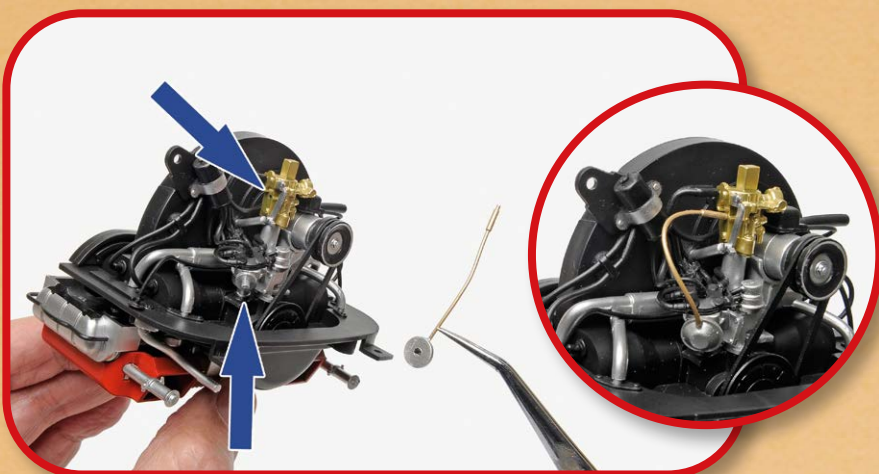
STEP 47-H

ファンハウジングの裏側からイグニッションコイルをBP04ネジ(46-6)で固定する。

シャーシの一部とエンジンの組み立て

STEP 47-1

最後に、バキュームアドバンスライン(46-2)をディストリビューターの半円形の支柱(下矢印)に、ホースの端をキャブレター側面の穴(上矢印)にはめ込む。丸い写真のようにになっていることを確認する。



本ステージの
完成

すべてのケーブルと
パーツを取り付けたエン
ジン。

完成品の外観



※写真は試作品です。バスのパーツ色は、ヴォルフスブルクのフォルクスワーゲンオートミュージアムに展示されているVW サンババスを参考にしました。

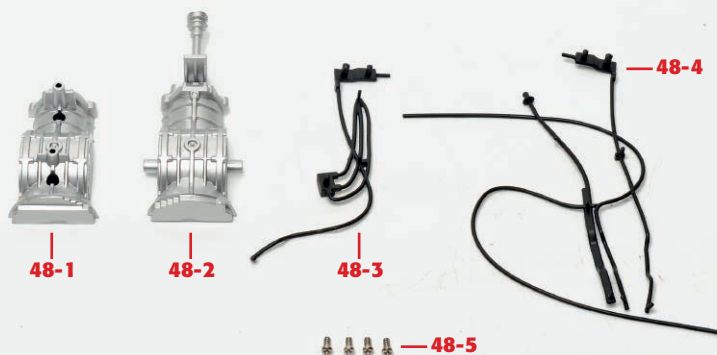


トランスミッションとエンジンのシャーシへの取り付け

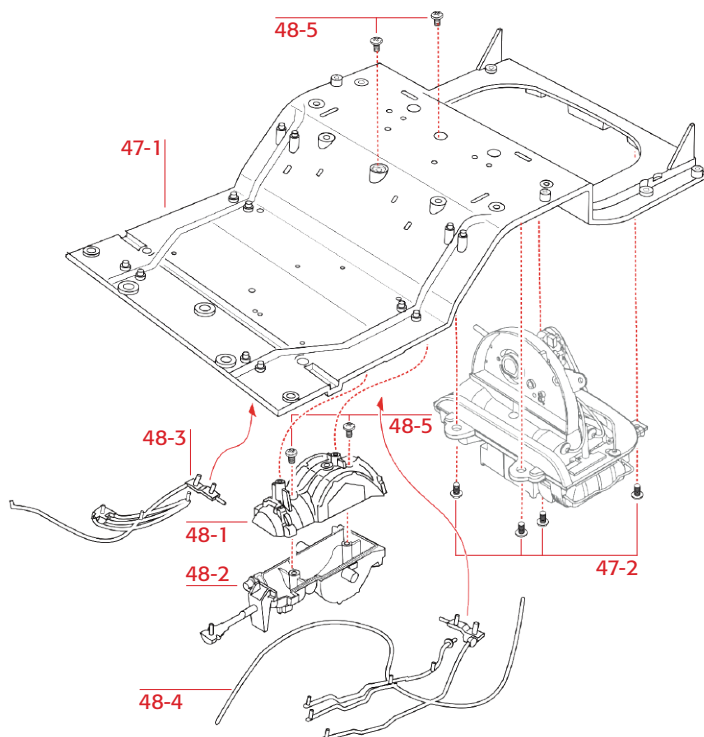
本ステージでは、リアシャーシにエンジンを配置し、本ステージで提供したトランスミッションとケーブルを取り付ける。

本ステージのパーツ

- 48-1 トランスミッション(上部)
- 48-2 トランスミッション(下部)
- 48-3 ケーブル(右)
- 48-4 ケーブル(左)
- 48-5 BP05ネジ(2.3×5.0mm)

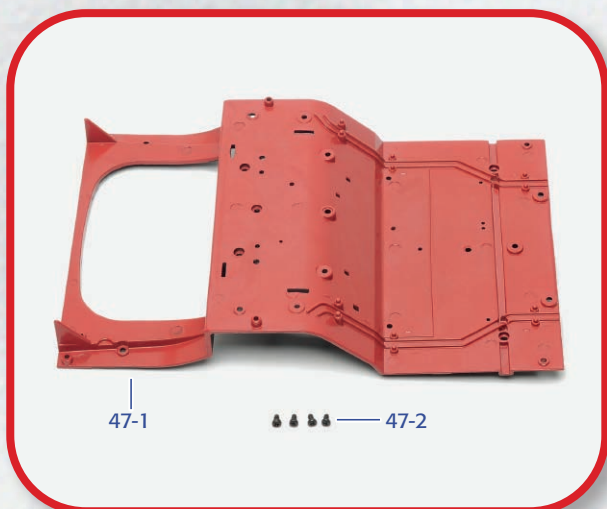


組立図



※掲載しているパーツは、ご提供するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

トランスミッションとエンジンのシャーシへの取り付け

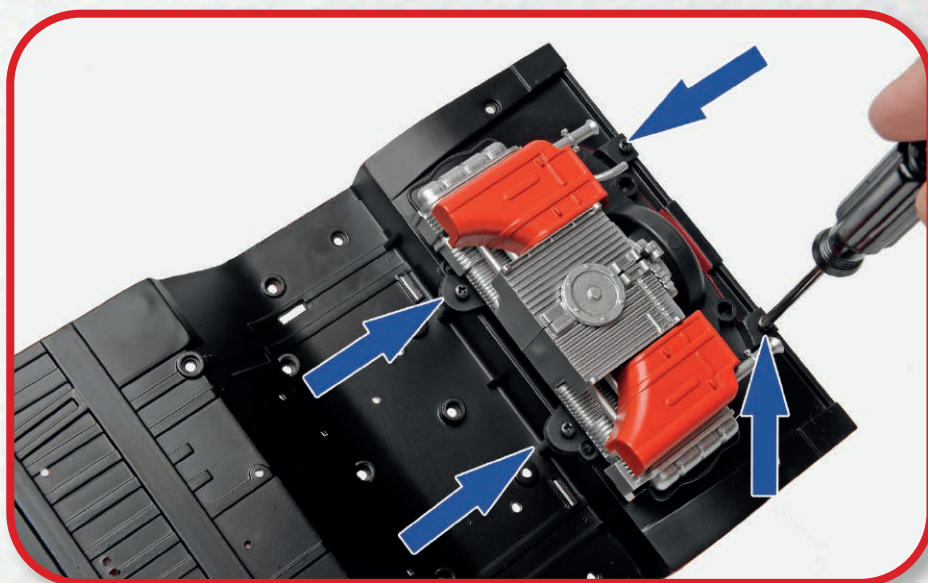


STEP 48-A

ステージ47で提供したパーツを用意する。

STEP 48-B

エンジンパーツを用意し、写真のようにリアシャーシ(47-1)の開口部に下から配置する。

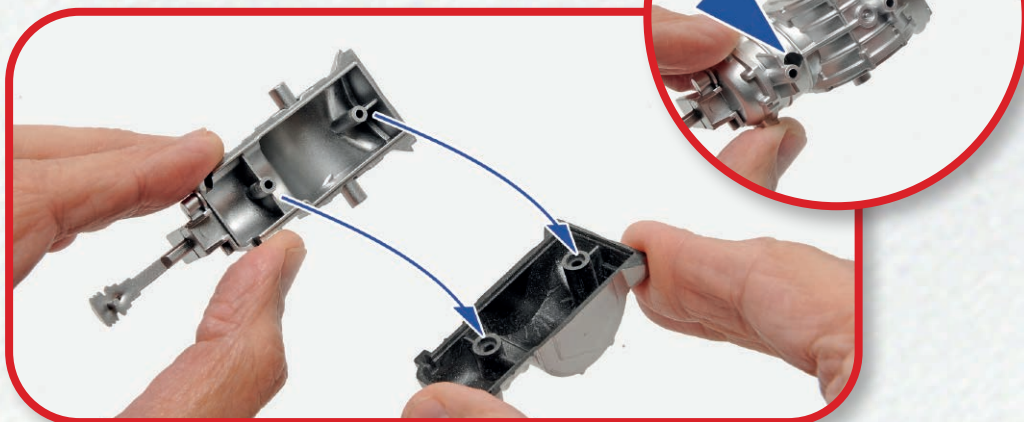


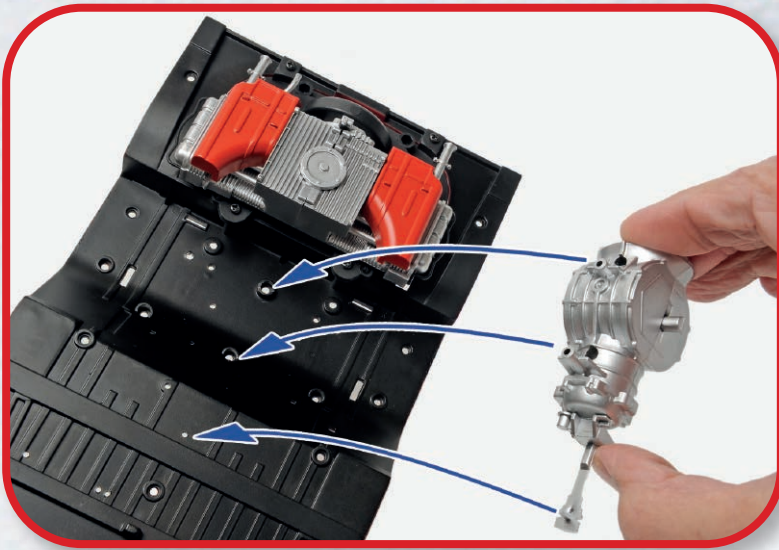
STEP 48-C

シャーシを裏返し、エンジンをBD04ネジ(47-2)4本で下から固定する。

STEP 48-D

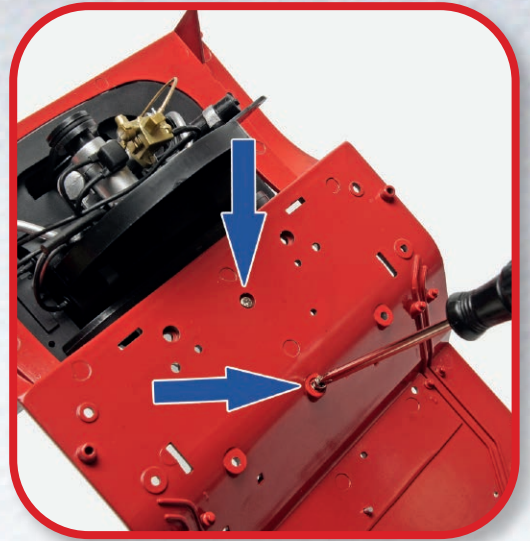
次に、トランスミッション(上部)(48-1)とトランスミッション(下部)(48-2)を合わせ、BP05ネジ(48-5)2本で固定する。





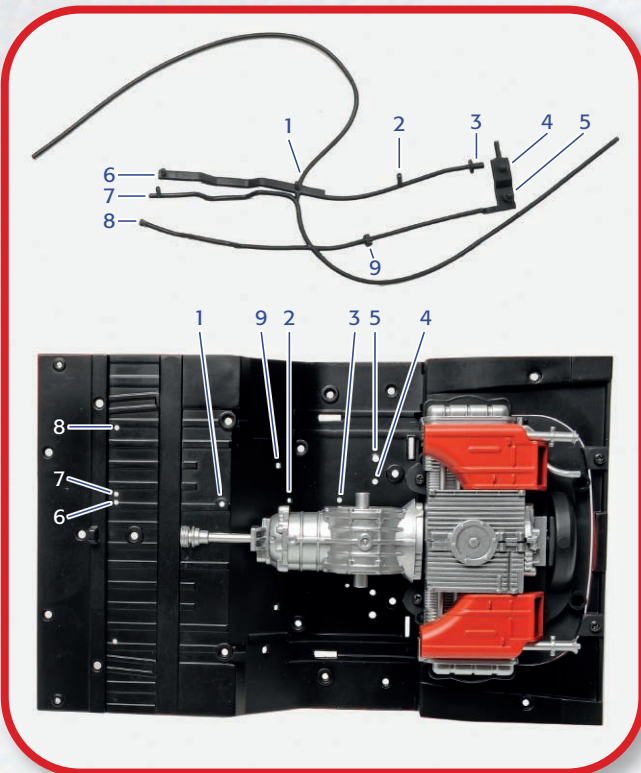
STEP 48-E

次に、トランスミッションパーツをシャーシ底部に配置し、トランスミッションの支柱と車軸の端のピンをシャーシの写真の穴にはめ込む。



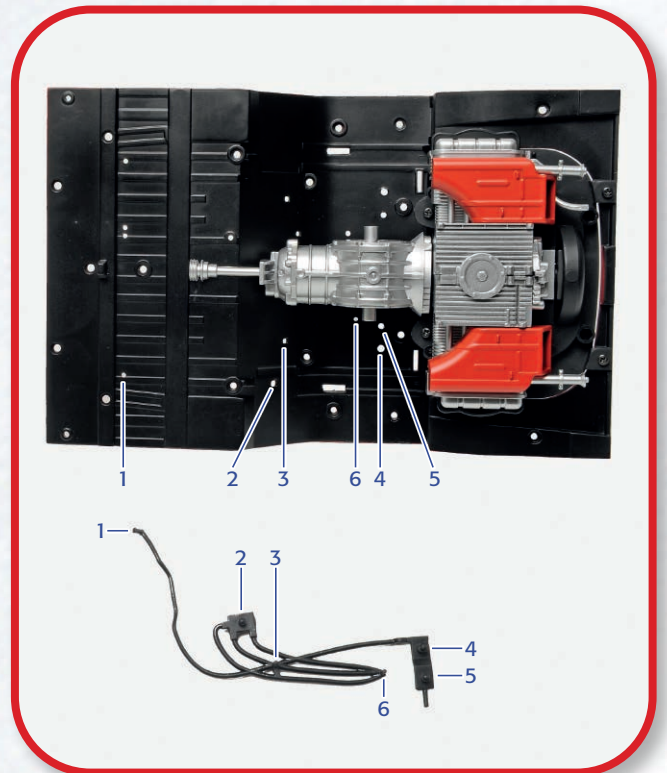
STEP 48-F

パーツを裏返し、BP05ネジ(48-5)2本でトランスミッションをシャーシに固定する。



STEP 48-G

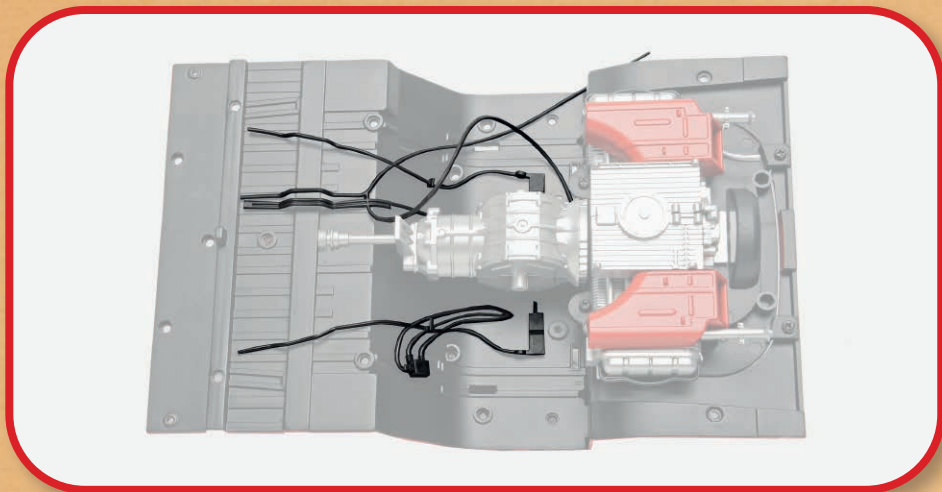
次に、ケーブル(左) (48-4)をよく確認し、写真の番号の付いた部位を正しく識別し、同じ番号で示したシャーシの穴に取り付ける。



STEP 48-H

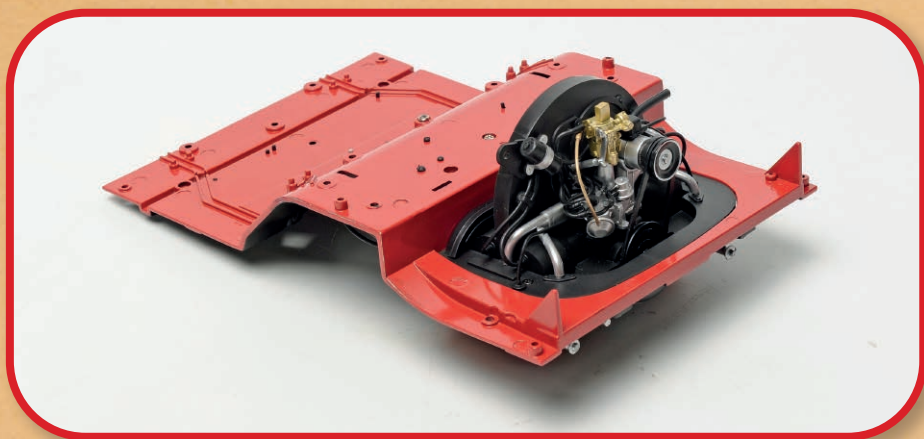
同様に、ケーブル(右) (48-3)も写真の番号の付いた部位を正しく識別し、同じ番号で示したシャーシの穴に取り付ける。この写真では、取り付け位置を明確にするため、ケーブル(左) (48-4)は取り除いてある。

トランスミッションとエンジンのシャーシへの取り付け



STEP 48-1

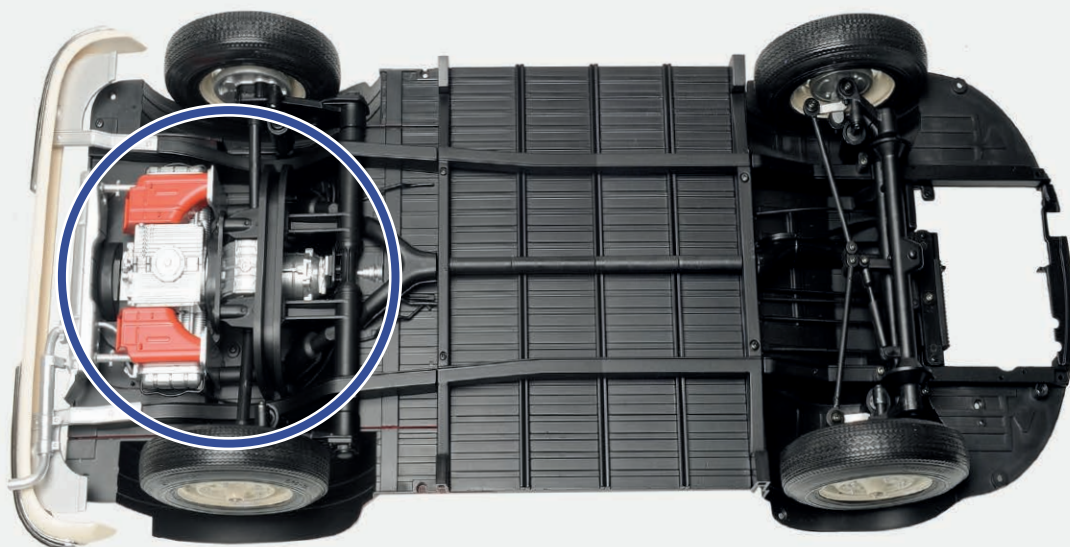
ケーブル(右) (48-3)とケーブル(左) (48-4)が写真のように取り付けられていることを確認する。



本ステージの完成

エンジンとトランスミッションを取り付けたリアシャーシ。

車体下部パーツの外観



※写真は試作品です。バスのパーツ色は、ヴォルフスブルクのフォルクスワーゲンオートミュージアムに展示されているVW サンバスを参考にしました。

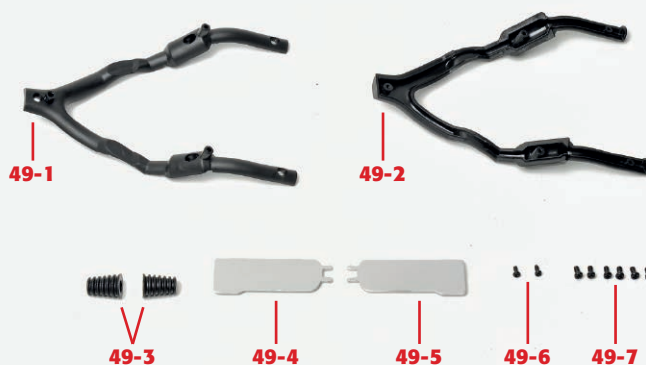


ヒーティング アクセサリ

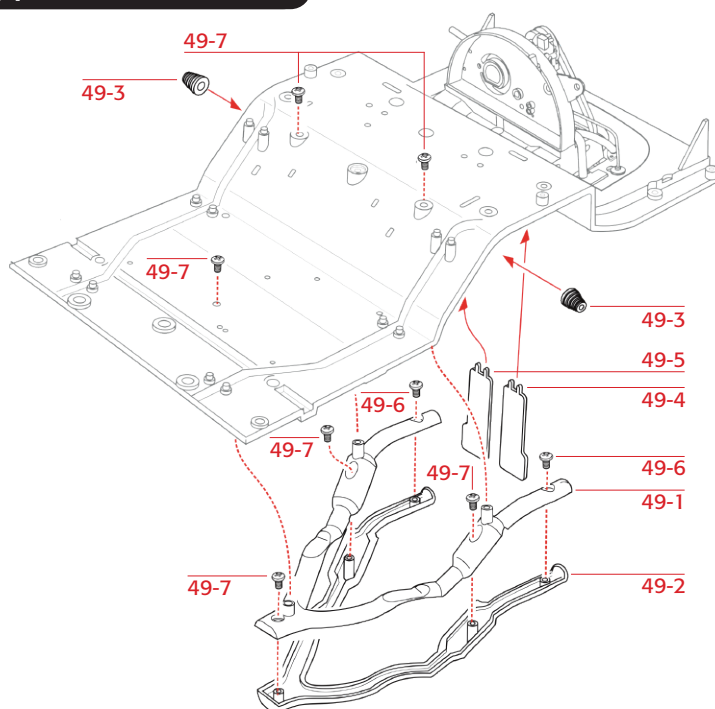
本ステージで提供したパーツを使い、ヒーティングシステムチューブを組み立て、トランスミッションの両側にスイングアクスルブーツを取り付ける。

本ステージのパーツ

- 49-1 ヒーティングシステム
チューブ(上部)
- 49-2 ヒーティングシステム
チューブ(下部)
- 49-3 スイングアクスルブーツ
- 49-4 ヒートシールド(左)
- 49-5 ヒートシールド(右)
- 49-6 BP03ネジ(1.8×4.0mm)
- 49-7 BP04ネジ(2.3×4.0mm)

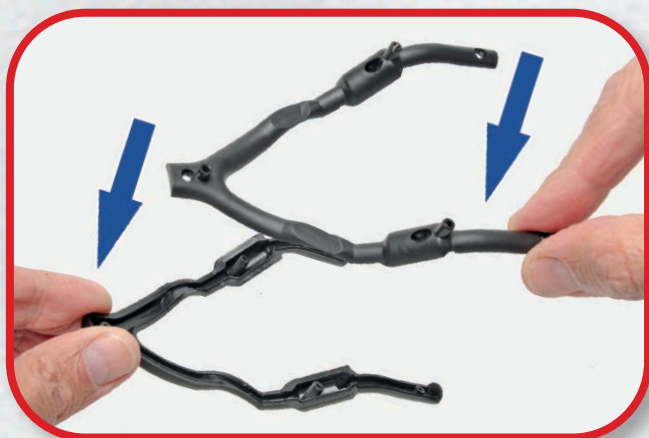


組立図



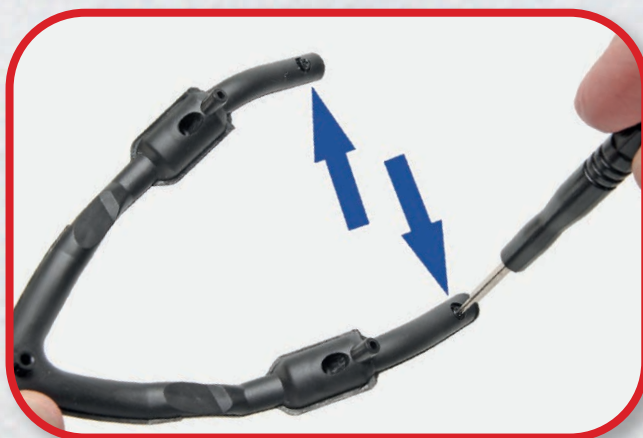
※掲載しているパーツは、ご提供するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

ヒーティンググアクセサリー



STEP 49-A

ヒーティングシステムチューブ(上部) (49-1)とヒーティングシステムチューブ(下部) (49-2)を合わせる。



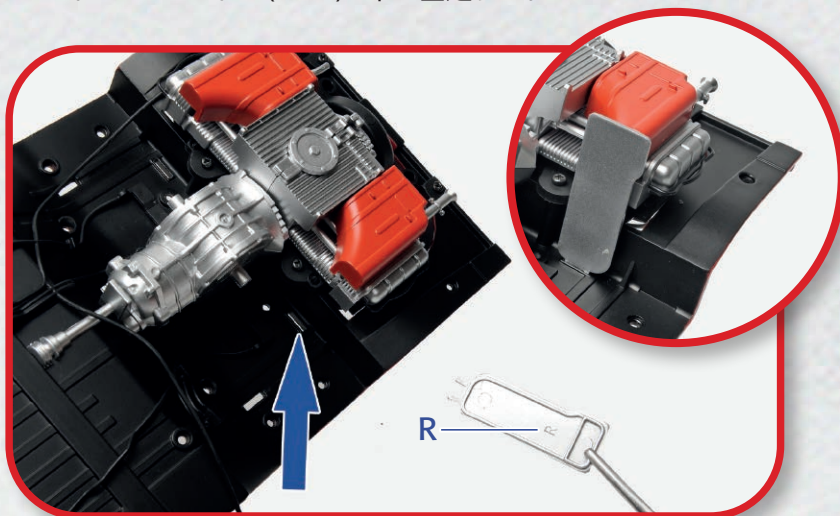
STEP 49-B

ヒーティングシステムチューブの分岐した側の両端をBP03ネジ(49-6)2本で固定する。



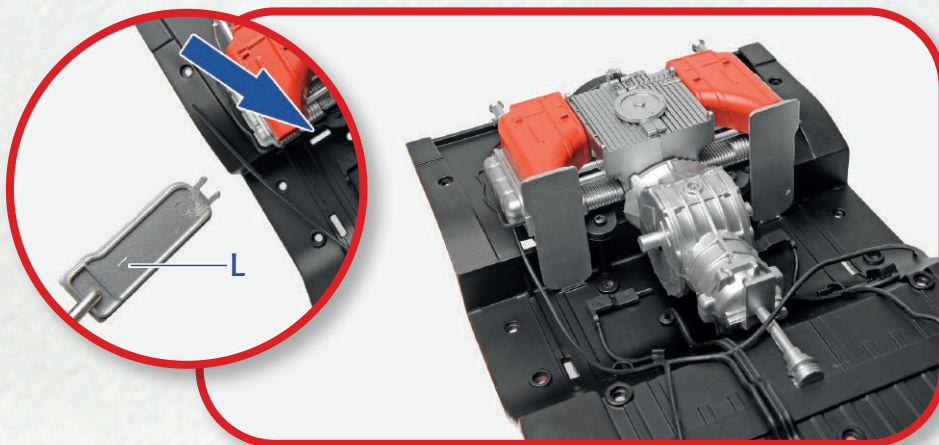
STEP 49-C

次に、分岐した側の中央部と反対側の端をBP04ネジ(49-7)3本で固定する。



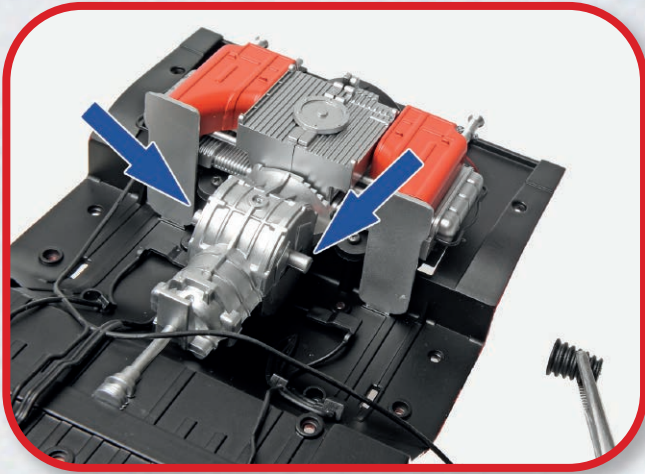
STEP 49-D

次に、「R」の刻印があるヒートシールド(右) (49-5)の支柱をリアシャーシの写真の四角い穴に差し込む。丸い写真のようになっていることを確認する。



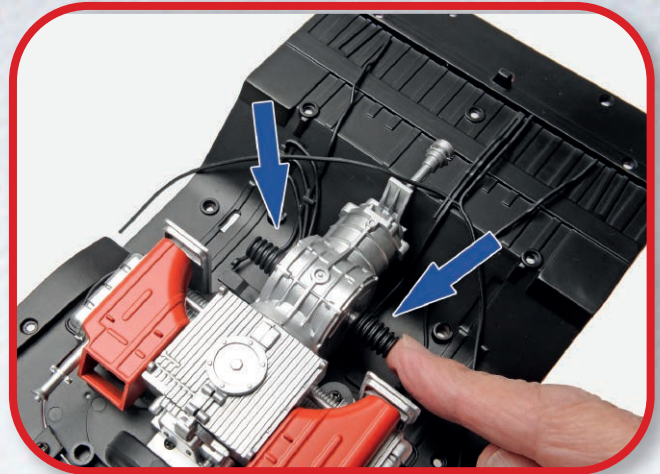
STEP 49-E

同様に、「L」の刻印があるヒートシールド(左) (49-4)も取り付け、写真のようになっていることを確認する。



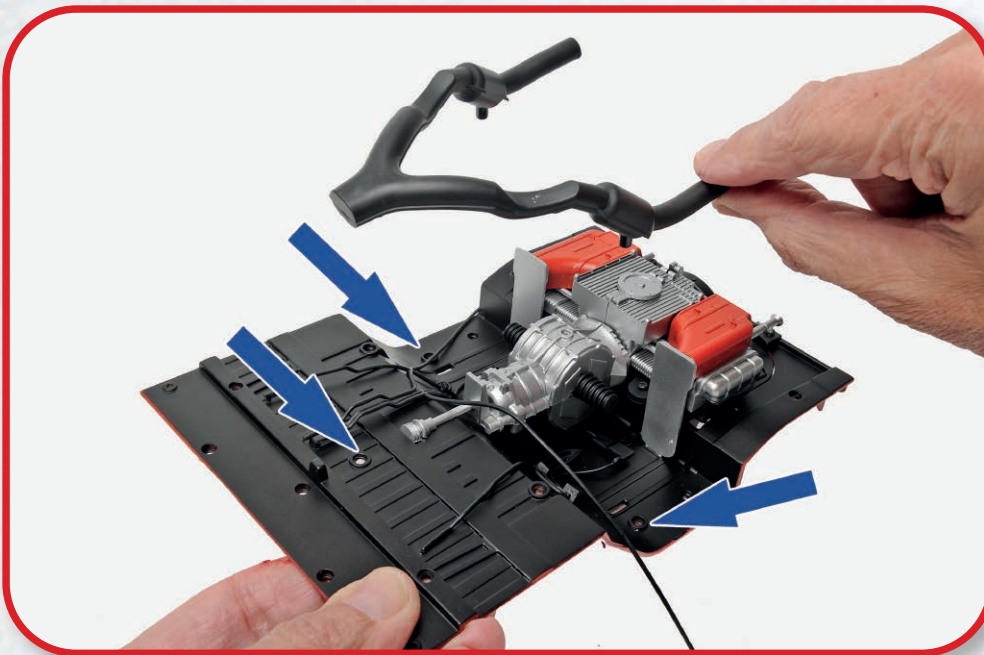
STEP 49-F

次に、スイングアクスルブーツ(49-3)をトランスミッションの両側に取り付ける。



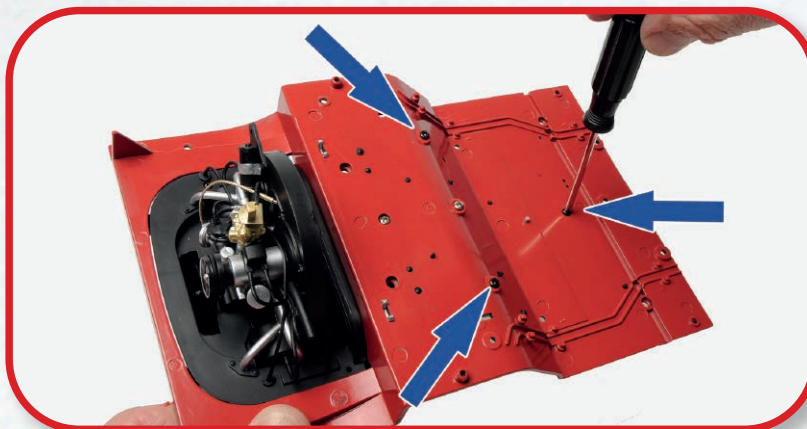
STEP 49-G

2つのスイングアクスルブーツをしっかりと押し込む。



STEP 49-H

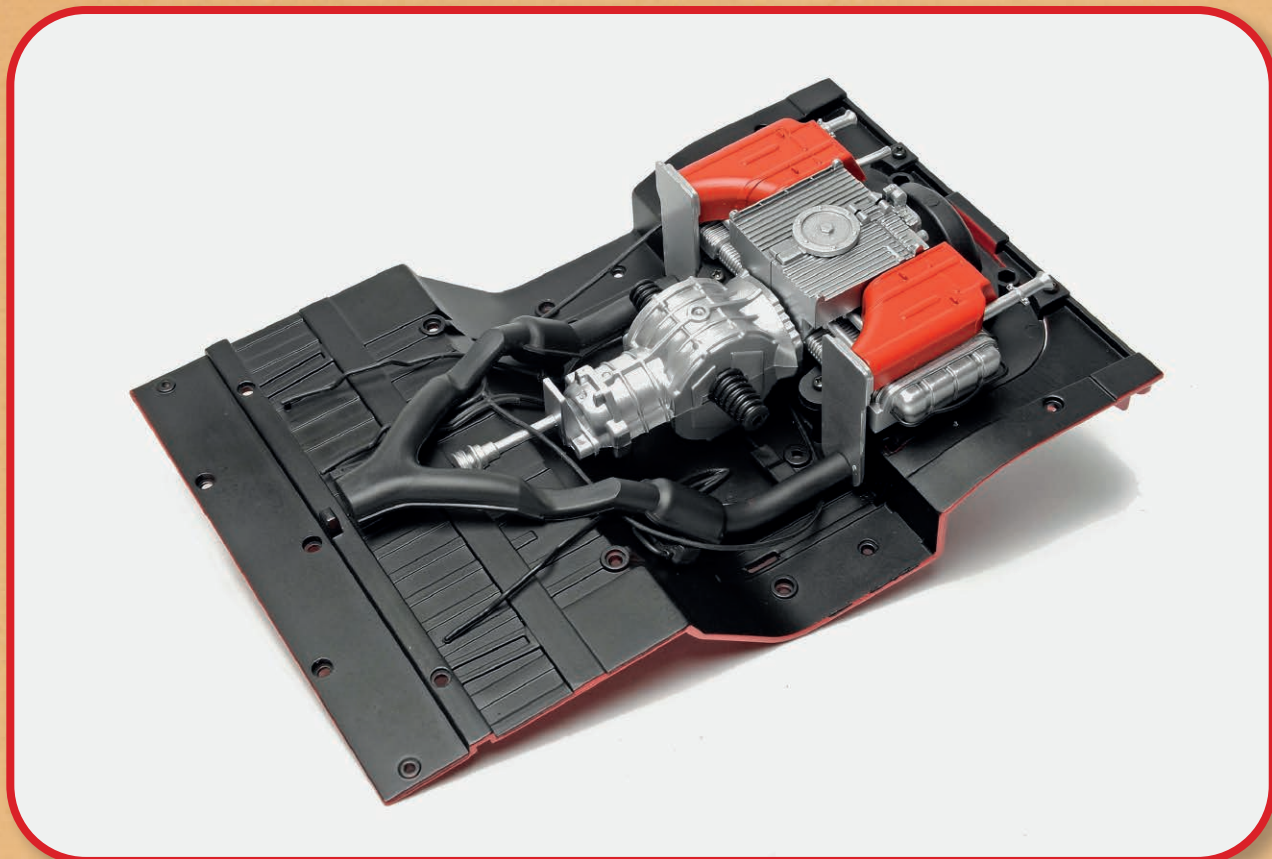
次に、ヒーティングシステムチューブの支柱をシャーシ底部の写真の穴にはめ込む。



STEP 49-I

シャーシを裏返し、BP04ネジ(49-7)3本でヒーティングシステムチューブを固定する。

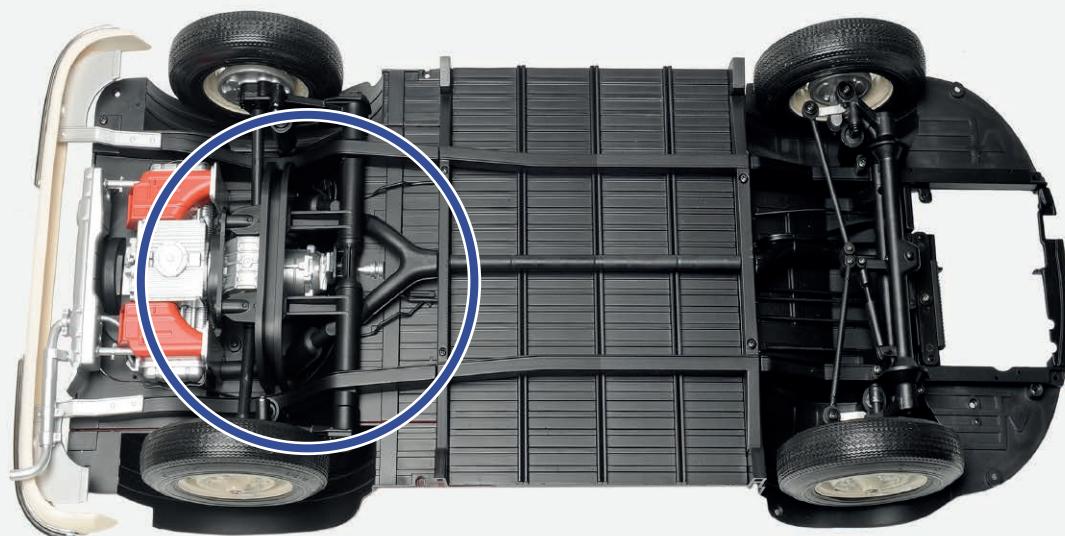
ヒーティングアクセサリー



本ステージの完成

ヒーティングアクセサリーを取り付けたリアシャーシ。

車体下部パーツの外観



※写真は試作品です。バスのパーツ色は、ヴォルフスブルクのフォルクスワーゲンオートミュージアムに展示されているVW サンババスを参考にしました。



サスペンションと リアトーションチューブ

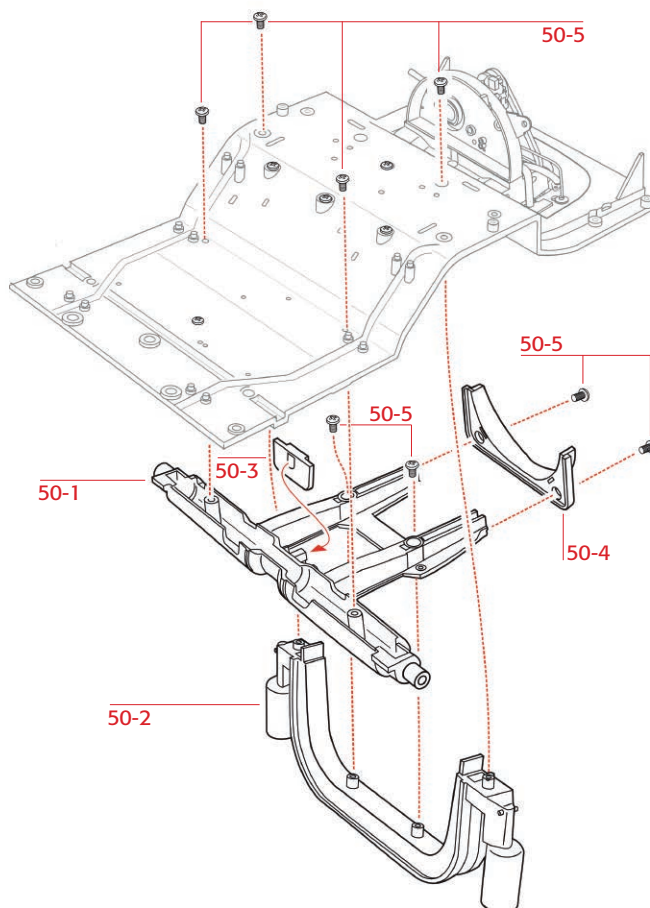
本ステージでは、リアシャーシの底部にリアトーションチューブ、サスペンションクレードル、トランスミッションクレードルを取り付ける。

本ステージのパーツ

- 50-1 リアトーションチューブ
- 50-2 サスペンションクレードル
- 50-3 サポートプレート
- 50-4 トランスミッションクレードル
- 50-5 BP04ネジ(2.3×4.0mm)



組立図

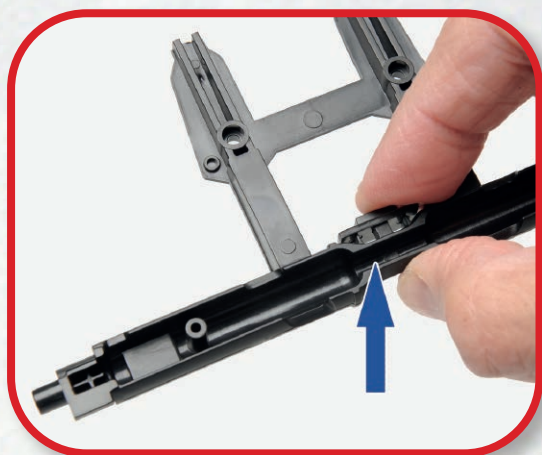
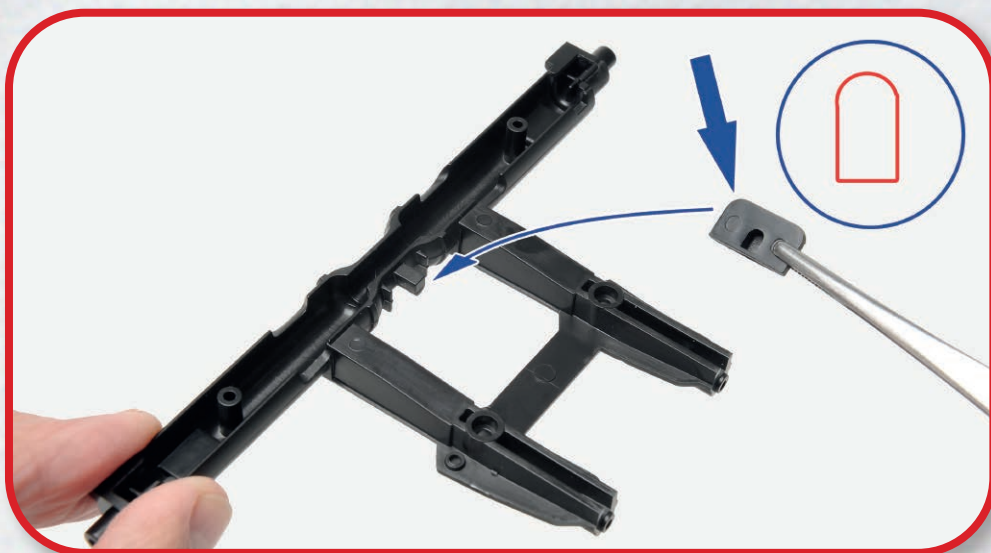


※掲載しているパーツは、ご提供するパーツと一部仕様が異なる場合があります。

サスペンションとリアトーションチューブ

STEP 50-A

サポートプレート(50-3)をリアトーションチューブ(50-1)の写真の支柱に取り付ける。支柱は図で示した形状になっているため、サポートプレートは1方向にしか取り付けられない。



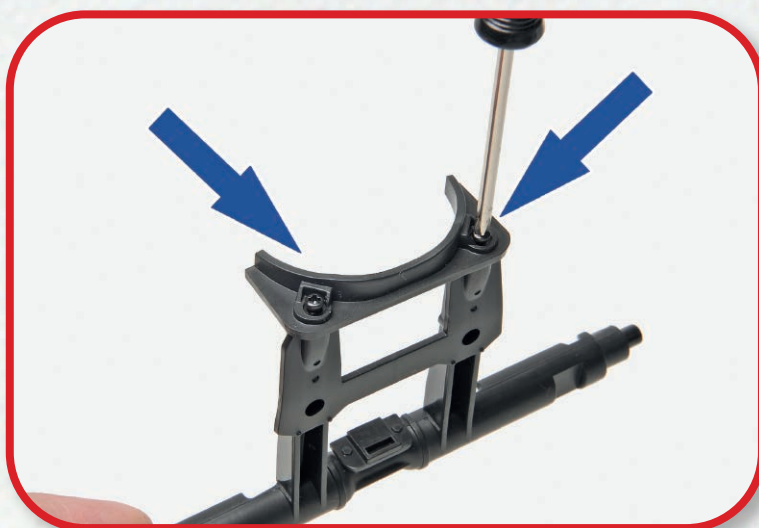
STEP 50-B

サポートプレートをしっかりと押し込む。



STEP 50-C

次に、トランスミッションクレードル(50-4)を写真のようにリアトーションチューブの端に取り付ける。



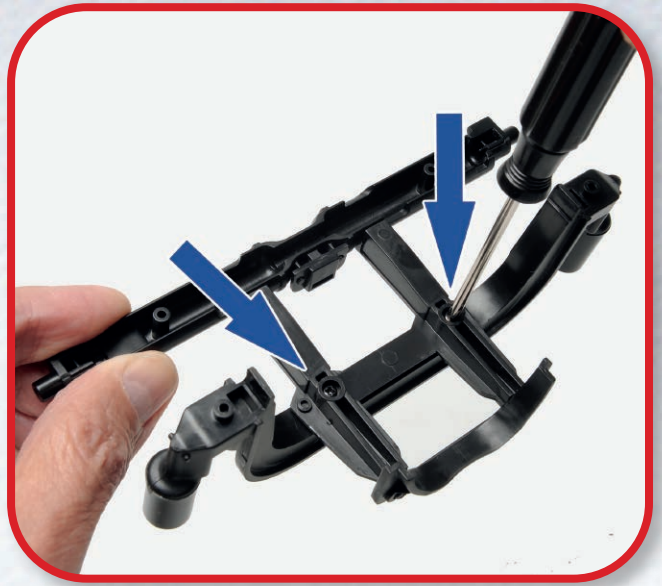
STEP 50-D

BP04ネジ(50-5)2本でトランスミッションクレードルを固定する。



STEP 50-E

次に、サスペンションクレードル(50-2)の2本の支柱を、リアトーションチューブの写真の穴に取り付ける。



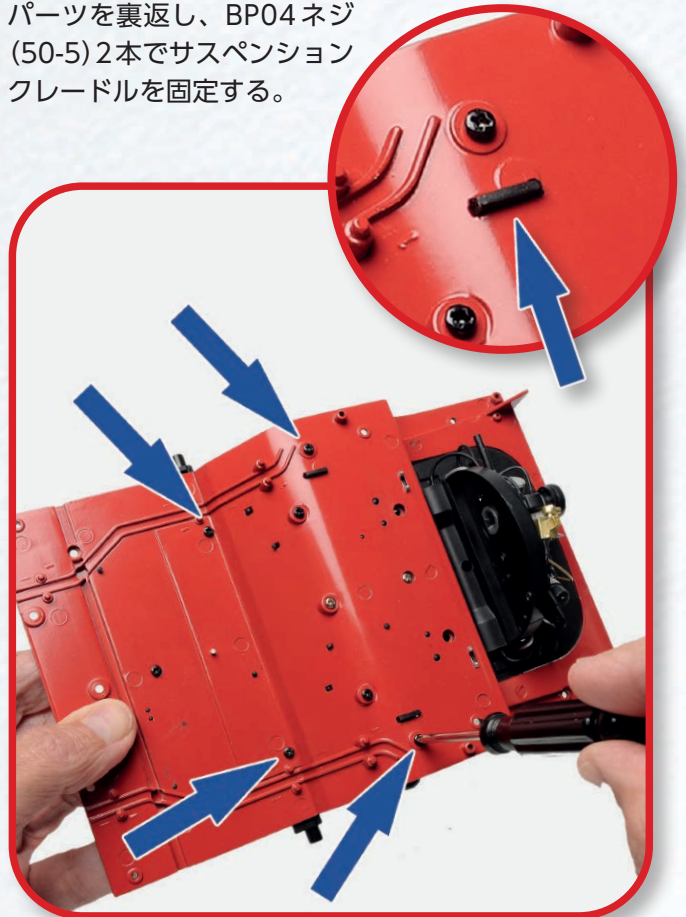
STEP 50-F

パーツを裏返し、BP04 ネジ(50-5) 2本でサスペンションクレードルを固定する。



STEP 50-G

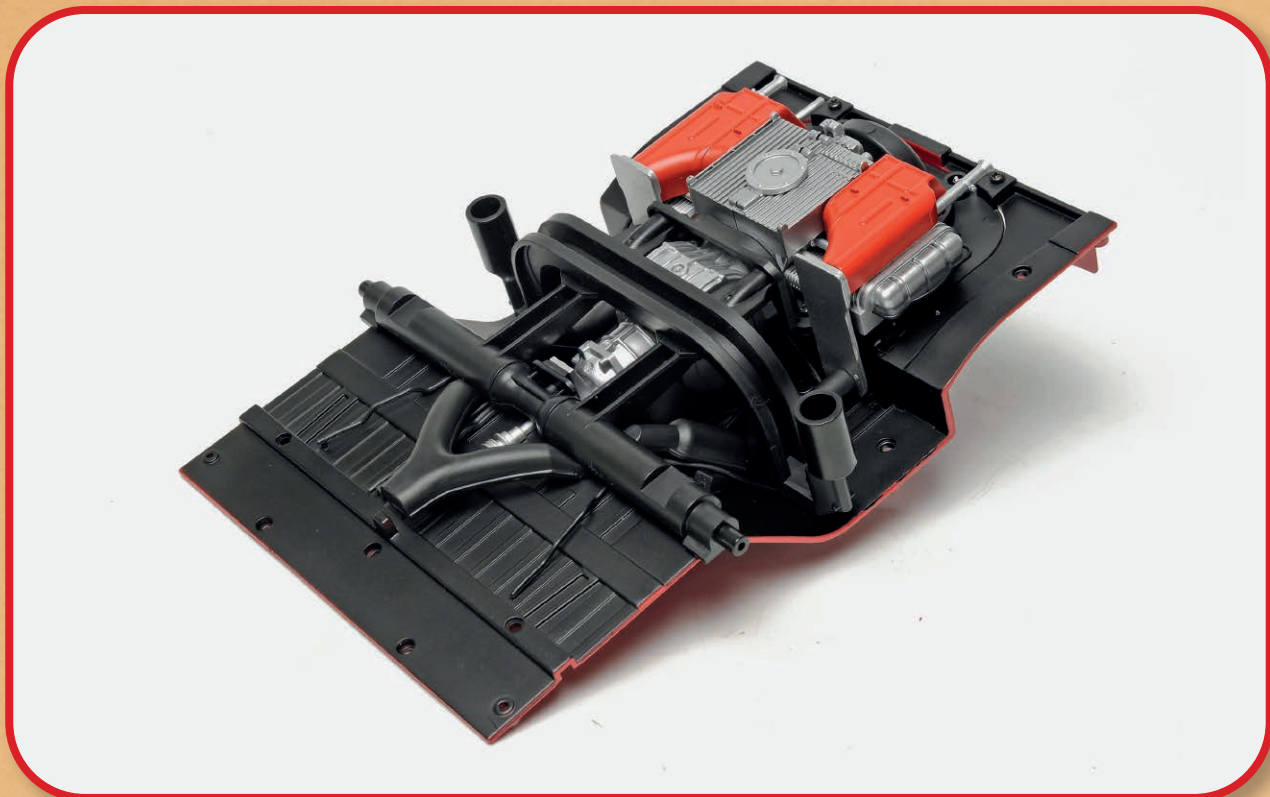
リアシャーシパーツを用意し、4本の支柱とサスペンションクレードルの四角い支柱をシャーシ底部の穴に差し込む。



STEP 50-H

サスペンションクレードルの四角い支柱がシャーシ上部に突き出ている事を確認し、BP04 ネジ(50-5) 4本で固定する。

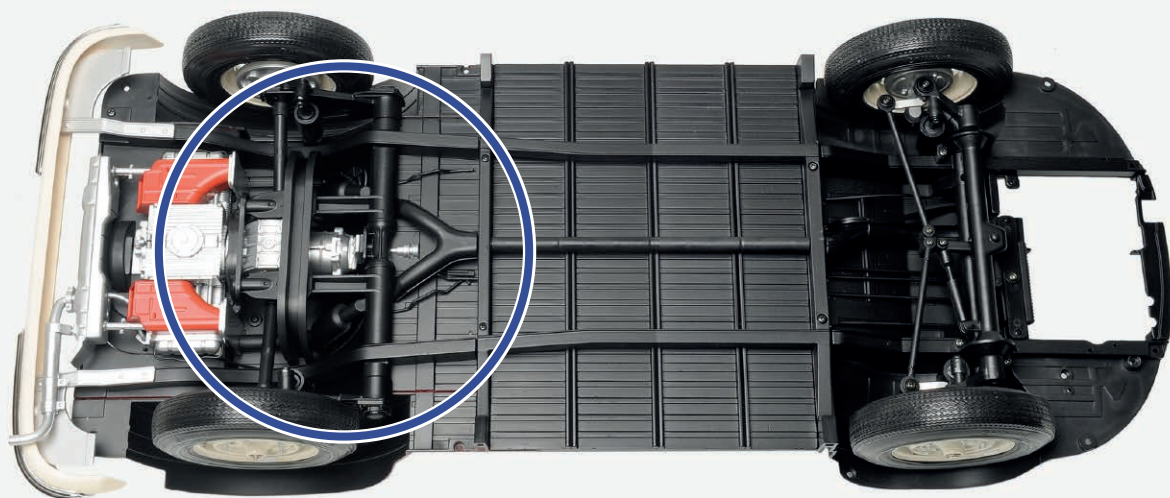
サスペンションとリアトーションチューブ



本ステージの完成

リアトーションチューブ、サスペンションクレードル、トランスミッションクレードルを取り付けたリアシャーシの底部。

車体下部パーツの外観



※写真は試作品です。バスのパーツ色は、ヴォルフスブルクのフォルクスワーゲンオートミュージアムに展示されているVW サンババスを参考にしました。